

藝 GEI RIN 林

第六十一卷 第一号

平成二十四年四月

臣安萬侶言さく……古を稽へて風猷を既に頽れつるに緇し、
今に照らして典教を絶えむとするに補はずといふこと莫し。
飛鳥の清原の大宮に大八洲御しめしし（天武）天皇……詔り
たまひしく「朕聞く、諸家の費てる帝紀と本辞、既に正美に
違ひ、多に虚偽を加ふと。今の世に当りて其の失を改めず
ば、未だ幾年を経ずして其の旨滅びなんとす。斯れ乃ち邦家
の経緯、王化の鴻基なり。故惟、帝紀を撰録し、旧辞を討覆
して、偽を削り実を定めて、後葉に流へむと欲ふ」と……
皇帝陛下（元明女帝）……臣安萬侶に詔したまひて、稗田
阿礼の誦む所の勅語の旧辞を撰録して献上せしむといへれば、
謹みて詔の旨の隨に、子細に採り摭ひぬ。……

和銅五年正月二十八日 正五位上勳五等 太朝臣安萬侶

『古事記』序（原漢文体）